

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(OSアップデート/パッケージ管理/バックアップ)
マイサーバーVPS compact

RIMNET <http://www.rim.or.jp/support/>

Members Guide Book **2010/07**

はじめに

本利用マニュアルでは、マイサーバーVPS compact の「OS アップデート」「パッケージ管理」「バックアップ」「テープバックアップ」を解説します。

目次

はじめに	1
目次	1
1. OSアップデート	2
1-1. 概要	2
1-2. 初期セットアップウィザード	2
2. パッケージ管理	6
2-1. 概要	6
2-2. アップデートサーバー設定	6
3. バックアップ	11
3-1. 概要	11
3-2. スケジュール追加	11
3-3. 今すぐバックアップ	14
3-4. バックアップファイルの復元	16
4. テープバックアップ	19
4-1. 概要	19

1. OSアップデート

1-1. 概要

HDE Controller にログインし、「OS アップデート」のアイコンをクリックします。

次項の項目に従って設定及び確認を実施してください。

1-2. 初期セットアップウィザード

●OS アップデート

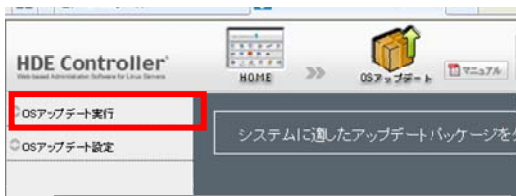
Linux で提供される各種サービスもソフトウェアの1つであり、他のソフトウェアと同様にバグが存在する可能性があります。

ソフトウェアのバグには様々な種類がありますが、中にはセキュリティ的に重大な被害を及ぼすものも存在します。そのため各種ディストリビューションでは、提供しているソフトウェアにバグが発見された場合に、アップデートパッケージを提供しています。

Linux のセキュリティレベルを保つためには、パッケージのアップデートが欠かせません。

Cent OS の場合

1) OS アップデートの設定を行います。



「OS アップデート設定」メニューより、アップデート動作に関する設定を行います。

通常は変更の必要はありませんが、プロキシの設定をしたい場合など必要に応じて設定を変更してください。

ネットワーク設定

HTTPプロキシを有効にする場合は以下を設定してください。

プロキシサーバー

ポート番号

HTTPプロキシ認証を使う場合は以下も設定してください。

ユーザ名

パスワード

(確認)

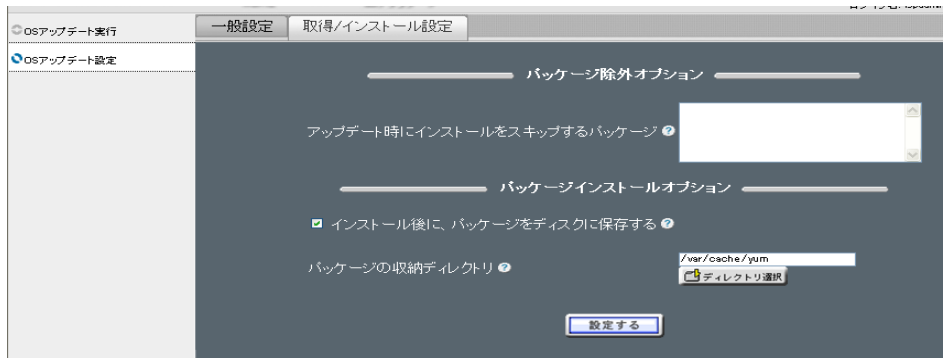
設定する

プロキシ経由でアップデートサーバーに接続する場合は、「プロキシサーバー」に使用するプロキシサーバー名
「ポート番号」にポート番号を入力してください。

プロキシサーバーでユーザー認証が必要な場合「ユーザー名」、「パスワード」を入力してください。

●取得/インストール設定

アップデートパッケージの取得とインストールの動作に関する設定を行います。



アップデート時にインストールをスキップしたいパッケージの名前を
「アップデート時にインストールをスキップするパッケージ」に入力してください。

複数のパッケージを追加したい場合は、1行に1パッケージ名で入力します。
パッケージ名の指定にはワイルドカードが使用できます。

例. kernel ではじまるパッケージをアップデートしたくない場合: kernel*

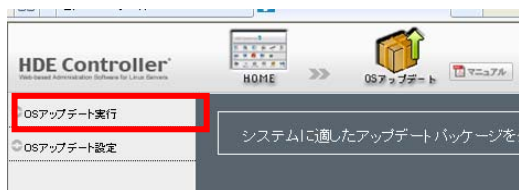
パッケージのインストール後にパッケージファイルを削除せずに収納ディレクトリに保存したい場合
「インストール後に、パッケージをディスクに保存する」にチェックします。

ダウンロードされたパッケージファイルの収納されるディレクトリを「パッケージの収納ディレクトリ」に入力してください。

実際に保存される場所

ここで指定したディレクトリ以下に作成されるサブディレクトリになります。
特に必要のない場合は変更しないでください。

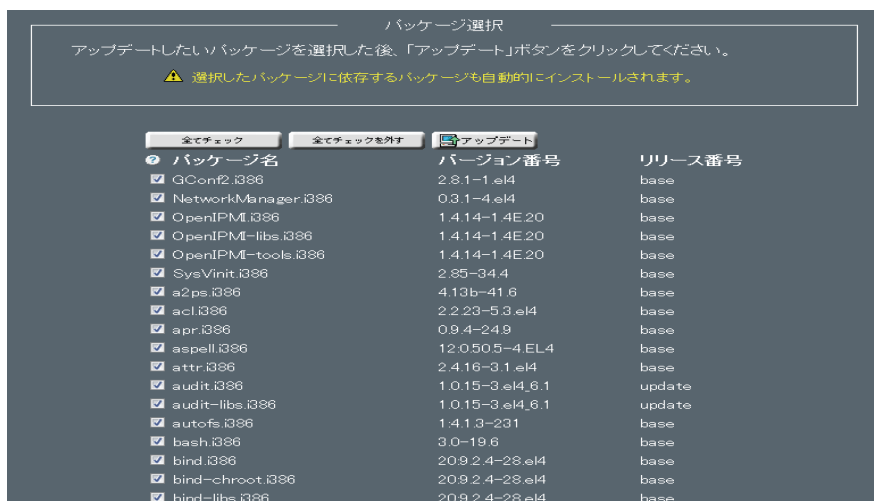
●OS アップデートの実行



最新のソフトウェアにアップデートします。

「OS アップデート実行」メニューより、RPM パッケージの依存関係を解決しパッケージのアップデートを行います。

「OS アップデート実行」をクリックすると、このシステムで利用可能なパッケージの一覧が表示されます。



アップデートしたいパッケージを選択し、「アップデート」をクリックします。

一覧の全てのパッケージを選択した場合、「全てチェック」をクリックします。

全てのパッケージの選択を解除したい場合、「全てチェックを外す」をクリックします。

「アップデート」をクリックした後、画面上に現在のアップデートの進捗状況が表示されます。

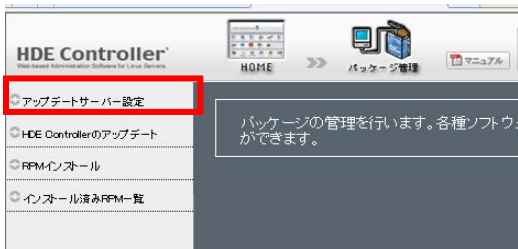
アップデートが完了すると、アップデートのログが表示されますので、アップデートが正常に完了したか確認してください。

2. パッケージ管理

2-1. 概要

HDE Controller にログインし、「パッケージ管理」のアイコンをクリックします。
次項の項目に従って設定及び確認を実施してください。

2-2. アップデートサーバー設定



アップデートサーバーでプロキシサーバーを使用する場合、ここで設定を行ってください。
ここで設定した内容は「RPM アップデート」でも使用されます。

アップデートサーバー設定

アップデートにプロキシサーバーを使用する場合は、ここで設定を行って下さい。

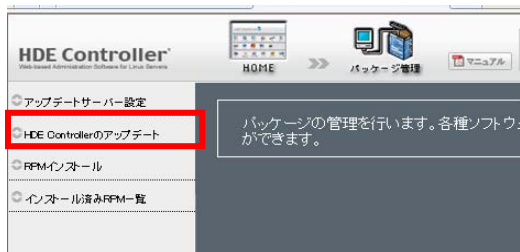
☒ プロキシサーバーを使用する?

プロキシサーバー名

プロキシサーバーのポート番号

「プロキシサーバーを使用する」にチェックを付け、
使用するプロキシサーバーのサーバー名とポート番号を入力し、「設定する」をクリックします。

●HDE コントローラのアップデート



HDE Controller では、機能追加や不具合の修正を行い、定期的にアップデートパッケージとして提供しています。常に最新のパッケージを利用するようにしてください。

アップデートの内容については、ユーザー登録の際に登録したメールアドレス及び弊社 WEB 上で案内しています。

<http://www.hde.co.jp/controller/support/>にあるアップデート案内をご覧ください。

このメニューでは、HDE Controller の管理画面を最新の状態へ更新することができます。

HDE Controller を構成する RPM パッケージのリストが表示され、更新可能なパッケージがある場合「一括アップデート」がアクティブになり、クリックすることにより更新を実行します。

各項目名の横の上下矢印ボタンをクリックすると、表示された項目の並び順の変更を行うことができます。

パッケージ一覧表示の説明

HDE Controllerのアップデート					
「一括アップデート」ボタンをクリックすると、最新の状態に更新することができます。 アップデートには時間がかかる場合があります。アップデートが完了するまでそのままの画面でお待ちください。					
パッケージ名	バージョン	リリース	インストール日時	アップデート ?	ファイルサイズ(byte) ?
cbqinit	0.7.2	08HDE	2009/01/28 15:47:04	最新	—
hde-curl	7.16.2	1	2009/01/28 15:46:24	最新	—
hde-db3	3.3.11	7	2009/01/28 15:46:46	最新	—
hde-db3-utils	3.3.11	7	2009/01/28 15:46:47	最新	—
hde-expat	1.95.8	1	2009/01/28 15:46:47	最新	—
hde-ic-dovecot	1.1.7	2	2009/01/28 15:46:59	最新	—
hde-ic-postfix	2.5.6	1	2009/01/28 15:46:55	最新	—
hde-ic-rrdtool	1.2.11	1	2009/01/28 15:46:48	最新	—
hde-ic-sid-milter	1.0.0	1	2009/01/28 15:47:02	最新	—
hde-libdomainkeys	0.69	01HDE	2009/01/28 15:46:53	最新	—
hde-libpng	1.2.34	1	2009/01/28 15:46:47	最新	—
hde-logsurfer	1.5b	07HDE	2009/01/28 15:46:50	最新	—

「パッケージ管理」－「HDE Controller のアップデート」をクリックします。

項目	概要
パッケージ名	RPMパッケージの名前
バージョン	現在インストールされているパッケージのバージョン番号
リリース	現在インストールされているパッケージのリリース番号
インストール日時	パッケージの最終インストール日時
アップデート	アップデート可能かどうかが表示されます。既に最新であれば「最新」と表示されます。
ファイルサイズ	アップデート可能な場合にアップデートパッケージファイルのファイルサイズが表示されます。

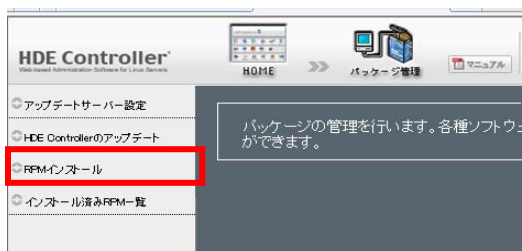
※外部ネットワークへ接続できない場合

アップデートサーバーがメンテナンス中の場合、パッケージ一覧は表示されません。

外部ネットワークへプロキシ経由で接続する場合、「アップデートサーバー設定」で

プロキシサーバー名とポート番号の登録を行ってください。

●RPM インストール



ソフトウェア (RPM パッケージ) のインストール・アップデートを行います。

既にインストールされているソフトウェアの最新バージョンをインストールする場合
新しいバージョンにアップデートします。

パッケージのインストール

ここでは、パッケージのインストールを行います。
既に指定パッケージの前バージョンがインストールされている場合はアップデートされます。

ネットワーク経由でインストール

URL1 ?

URL2 ?

URL3 ?

インストール

入力項目を追加

⚠ 複数パッケージを入力した場合、そのうちの一つでもインストールできない時は、全パッケージのインストールが失敗となります。

ファイルを指定してインストール

ファイル1:

参照...

ファイル2:

参照...

ファイル3:

参照...

インストール

入力項目を追加

⚠ 「デスクトップ」等の半角カナ/全角文字が、ファイル名またはそのパスに含まれる場合、Webブラウザの種類によっては、ファイルのアップロードが正常に動作しない事があります。
複数パッケージを入力した場合、そのうちの一つでもインストールできない時は、全パッケージのインストールが失敗となります。

ネットワーク経由でインストールする場合、RPM パッケージファイルの URL を「URL」に入力し
「インストール」をクリックして実行します。

インターネットアドレスは以下の入力例のように入力します。

入力例

ftp://ftp.xxx.or.jp/pub/xxx.i386.rpm

http://www.xxx.com/xxx.i386.rpm

入力項目が不足した場合、「入力項目を追加」をクリックし、追加をします。

ファイルを指定してインストールする場合、予め用意された RPM パッケージファイルの場所を指定してインストールします。

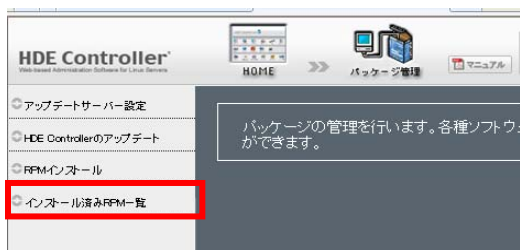
「ファイル」に RPM パッケージファイルの保存されているパスを入力します。

クライアント内にある RPM パッケージファイルの場合、「参照」をクリックし、参照画面から指定することができます。

※ファイル名や、ファイルの存在するパスの中に、半角カナ／全角文字が含まれている場合は Web ブラウザの種類によりファイルのアップロードが正常にできない場合があります。

「インストール」をクリックして実行します。

●インストール済み RPM 一覧



現在インストールされているソフトウェアを一覧表示、および削除します。

「パッケージ名に含まれる文字列」に検索したいパッケージの一部または、全部の文字列を入力することで、選択的に表示を行うことも可能です。

パッケージ名に含まれる文字列: <input type="text"/> パート毎の表示件数: 47 検索							
全 461 件 パッケージの頭文字 a-c c-f f-h h-l l-n n-p p-s s-t t-z 全て表示							
パッケージ名	バージョン	インストール日時	ベンダー	アーキテクチャ	サイズ	アンインストール	詳細
acl	2.2.39-1.1	11/19/2007 10:08:34	CentOS	i386	148,762		
acpid	1.0.4-5	11/19/2007 10:09:55	CentOS	i386	36,683		
amanda	2.5.0p2-4	11/19/2007 11:57:18	CentOS	i386	398,394		
amanda-client	2.5.0p2-4	11/19/2007 11:57:19	CentOS	i386	273,538		
amanda-server	2.5.0p2-4	11/19/2007 11:57:19	CentOS	i386	1,102,236		
amtu	1.0.4-4	11/19/2007 10:09:50	CentOS	i386	46,468		

●ソフトウェアの一覧表示

ソフトウェアについて詳細な情報を表示する場合

「詳細」をクリックします。

ソフトウェアの詳細画面からソフトウェア一覧画面に戻る場合

「戻る」をクリックします。

●ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除する場合

「アンインストール」をクリックします。

3. バックアップ

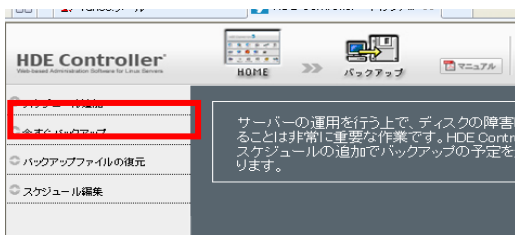
3-1. 概要

HDE Controller にログインし、「バックアップ」のアイコンをクリックします。

次項の項目に従って設定及び確認を実施してください。

尚、テープバックアップは提供していませんのでご了承下さい。

3-2. スケジュール追加



バックアップのスケジュールを追加します。

「このバックアップ予定につける題名」にスケジュールの設定名を入力します。

バックアップしたい領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合

「その他の領域」にパスを入力するか、「ディレクトリ選択」ボタンをクリックし、ディレクトリ選択ウインドウで場所を指定します。

その他の領域を複数指定する場合

「その他の領域を追加」をクリックすると、入力欄を追加することができます。

「進む」をクリックして次の設定へ進みます。

※保存されるファイルのアーカイブ形式は tgz（tar+gzip）形式になります。
バックアップのスケジュールを指定します。

バックアップスケジュール

バックアップの日程②

☒ 毎日
☐ 毎週何曜日
☐ 毎月何日

バックアップの時間②

真夜中はAM0時、昼はPM0時で指定してください

AM PM

バックアップファイル最大保存数② 5 個まで保存されます

戻る X キャンセル 進む

「バックアップの日程」を「毎日」「毎週何曜日」「毎月何日」から選択します。

「毎週何曜日」を選択した場合は曜日の選択項目が表示されます。

バックアップスケジュール

バックアップの日程②

☐ 毎日
☒ 毎週何曜日
☐ 毎月何日

☐ 日曜日
☐ 月曜日
☐ 火曜日
☐ 水曜日
☐ 木曜日
☐ 金曜日
☐ 土曜日

「毎月何日」を選択した場合は、日付の選択項目が表示されます。

日程を正しく指定します。

実行する時間を「AM」「PM」、何時、何分か選択します。

このスケジュールで保存されるバックアップファイルの最大保存数を指定します。

(1~999 世代の間で指定します。)

「進む」をクリックして、次の設定へ進みます。

バックアップの保存先を指定します。

保存先のパスを入力するか、「ディレクトリ選択」をクリックし、

ディレクトリ選択ウインドウでディレクトリを選択します。

「進む」をクリックして、次の設定へ進みます。

メールによる報告を設定する場合

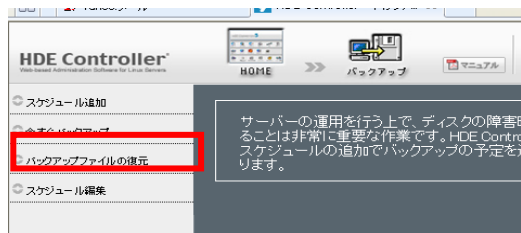
「バックアップ結果を下記メールアドレスへ送信します」にチェックを入れ、

メールアドレスを入力します。

「設定する」をクリックして設定を終了します。

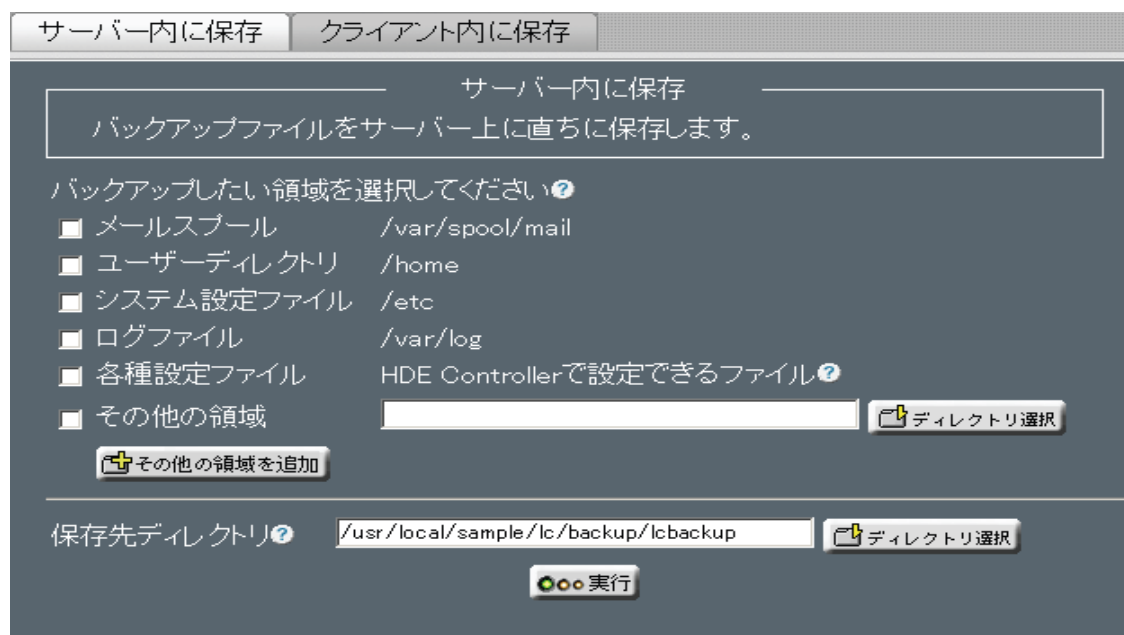
3-3. 今すぐバックアップ

バックアップファイルを直ちに保存します。



●サーバー内に保存

バックアップファイルをサーバー内に直ちに保存します。



バックアップする領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合

「その他の領域」にパスを入力するか「ディレクトリ選択」をクリックし、ディレクトリ選択画面で指定します。

その他の領域を複数指定する場合

「その他の領域を追加」をクリックすると、入力欄を追加することができます。

バックアップファイルを保存するディレクトリを「保存先ディレクトリ」に入力するか

「ディレクトリ選択」をクリックし、ディレクトリ選択画面で指定します。

「実行」をクリックして保存を実行します。

●クライアント内に保存

バックアップファイルをクライアント内に直ちに保存します。

サーバー内に保存 クライアント内に保存

クライアント内に保存

バックアップファイルをクライアントマシン上に直ちに保存します。

バックアップしたい領域を選択してください

- ☐ メールスプール /var/spool/mail
- ☐ ユーザーディレクトリ /home
- ☐ システム設定ファイル /etc
- ☐ ログファイル /var/log
- ☐ 各種設定ファイル HDE Controllerで設定できるファイル?
- ☐ その他の領域

バックアップファイル形式? 形式

バックアップする領域を選択します。

既にリストにある領域以外を指定する場合

「その他の領域」にパスを入力するか、「ディレクトリ選択」をクリックしディレクトリ選択画面で指定します。

その他の領域を複数指定する場合

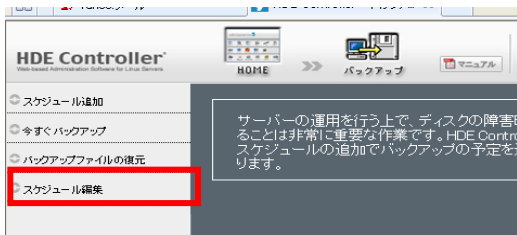
「その他の領域を追加」をクリックすると入力欄を追加できます。

バックアップファイルの保存形式を「バックアップファイル形式」から選択します。

「実行」ボタンをクリックしてバックアップを実行します。

保存ダイアログが表示されたら保存場所を指定しバックアップを完了します。

3-4. バックアップファイルの復元



HDE Controller で生成されたバックアップファイルを復元します。

●サーバー内ファイル復元

サーバー内に保存されているバックアップファイルを復元/管理します。


サーバー内ファイル復元 クライアント内ファイル復元 その他復元

サーバー内ファイル復元

HDE Controllerによって生成されたサーバー上のバックアップファイルを復元します。

スケジュール名 全て から日時 にマッチするファイルを表示 検索 ?

スケジュール名	バックアップ日時	サイズ (byte)	ファイル名	
今すぐバックアップ	2005/09/01 21:26:53	1,199,763	lcbk_manu 050901_212653.tgz	内容表示 全て復元 削除

 削除を実行するには、「削除」ボタンで削除するファイルを選択し、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定する

バックアップファイルを検索する場合

「スケジュール名」を選択し、検索条件となる日時を「日時」に入力します。

「検索」をクリックして検索を実行します。

バックアップファイルの内容を全て復元する場合、「全て復元」をクリックします。

バックアップファイルを削除する場合、「削除」ボタンをクリックします。

削除を取り消す場合は、再度、「取消」ボタンをクリックします。

削除の場合のみ、「設定する」をクリックして実行します。

復元するファイルを選択する場合

「内容表示」をクリックし、バックアップファイルの内容を表示し必要なファイルを選択します。

内容表示画面ではバックアップファイルに保存されたファイル/ディレクトリ構成に基づいてディレクトリ内を仮想的に移動することができます。

表示されたファイル/ディレクトリを全て選択解除する場合

「全てチェックを外す」をクリックします。

表示されたファイルディレクトリを全て選択する場合

「全てチェックする」をクリックします。

選択されたファイルを復元する場合

「復元」をクリックします。

※復元後、ディスクに存在する同名のファイルが、直ちに上書きされます。

※サイズの大きなバックアップファイルを復元する場合は、処理に時間がかかります。

Web ブラウザのタイムアウトで正常に処理されないことがあります。

●クライアント内ファイル復元

クライアント内に保存されているバックアップファイルを復元します。

バックアップファイルが保存されている場所のパスを入力するか、「参照」をクリックし保存場所指定画面でファイルの場所を指定します。

「復元」をクリックして復元を実行します。

※バックアップファイルのファイル名や、ファイルパスの中に、半角カナ／全角文字が含まれている場合、Web ブラウザの種類等によりファイルのアップロードが正常にできない場合があります。

※指定するバックアップファイルは、HDE Controller で保存されたものでなければなりません。

※256MB 以上のファイルは復元できません。

●その他復元

サーバー内に保存されているバックアップファイルを直接指定し復元します。

復元するファイルが保存されているパスを入力します。

ファイルの復元先となる場所のパスを入力するか、「ディレクトリ選択」をクリックしディレクトリ選択画面から復元場所を指定します。

「復元」をクリックして復元を実行します。

削除する場合は「削除」をクリックします。(直ちに削除されます。)

※ 復元するバックアップファイルの形式は「tgz」または「tar.gz」でなければなりません。

4. テープバックアップ

4-1. 概要

テープバックアップはお客様のサーバーセンターへの入館ができませんため、提供しておりません。
ご了承ください。

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(OS アップデート / パッケージ管理 / バックアップ)
マイサーバーVPS compact

発行元：株式会社イージェーワークス

発効日：2010 年 7 月 9 日 rev1

リムネット カスタマーサポートセンターの連絡先

電 話 窓 口：0120-678-309

ファックス：045-472-2777

メー ル：support@rim.or.jp

受 付 時 間：24 時間 365 日

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。
著作権法により、当社に無断で転用、複製等することはできません。